

追悼(追善)法要 ※亡くなった日を含めて日数を数えます。			
法要の名称	時期	法要の内容	案内状
初七日 (しよなぬか)	7 日目 (葬儀当日に行な われることが多い)	遺族、親族、友人、知人などが参列。 僧侶による読経のあと、一同で焼香・ 会食をします。 最近では、火葬場から遺骨が帰ってきたとき に遺骨を迎える還骨勤行(かんこつごんぎょう) と一緒に過ごされることも多いようです。	
二七日忌 (ふたなぬか)	14 日目	遺族だけで供養します。僧侶による読経お よび焼香は省略されることが多いようです。	
三七日忌 (みなぬか)	21 日目	遺族だけで供養します。僧侶による読経お よび焼香は省略されることが多いようです。	
四七日忌 (ししちにち) (よなぬか)	28 日目	遺族だけで供養します。僧侶による読経お よび焼香は省略されることが多いようです。	
五七日忌 (ごしちにち) (いつなぬか) 三十五日 (さんじゅうごにち)	35 日目	遺族だけで供養します。僧侶による読経お よび焼香は省略されることが多いようです。 ※宗派によっては、この日が忌明けとされ る場合もあります。	
六七日忌 (ろくしちにち) (むなぬか)	42 日目	遺族だけで供養します。僧侶による読経お よび焼香は省略されることが多いようです。	
七七日忌 (しちしちにちき) (なななぬか) 四十九日 (しじゅうくにち)	49 日目	遺族、親族、友人、知人などが参列。 僧侶による読経のあと、一同で焼香・ 会食(お斎)をします。 ※この日が忌明けとされます。本位牌を仏壇 に納め、白木の位牌を菩提寺に納めます。 ※この日に納骨するケースが多いようです。	○
百か日忌、百箇日 百か日 (ひゃっかにち)	100 日目	遺族だけで供養します。僧侶による読経お よび焼香は省略されることが多いようです。 声をあげて泣き叫ぶことを卒業する。	

初盆・新盆は四十九日が過ぎてからの最初のお盆なので、法要の順番は命日により異なるため省略しています。